

3月6日(土)

・大会長による開催の挨拶・学術委員長からのお願い

09:50-10:00

座長：加隈 良枝(帝京科学大学)

1) イヌの社会的認知に関する比較分析—竹花ら(2007)研究再考—

竹花 正剛(R.E.A.D.D.学習相談室・大阪府)

10:00-10:15

2) 社会的認知能力の犬種差について

坂田 日香里(麻布大学・神奈川県)

10:15-10:30

座長：大谷 伸代(麻布大学)

3) ドッグインストラクターとしてのセラピードッグの育成

古賀 好恵(AATボランティア活動グループ もらと・三重県)

10:30-10:45

4) ゾウの性格評定と関連遺伝子の探索

安井 早紀(京都大学野生動物研究センター・京都府)

10:45-11:00

座長：信實 洋介(朝日医療専門学校福山校)

5) 幼稚園における動物介在教育に関する研究

～ニュースレターが動物飼育に対する教員の意識を向上させることは可能か?～

森元真理(広島大学大学院・広島県)

11:00-11:15

6) 幼稚園に対する犬の訪問活動を通じた動物介在教育に関する研究

木場 有紀(広島大学大学院・広島県)

11:15-11:30

座長：谷田 創(広島大学)

7) ノネズミとの触れあい体験

安藤 元一(東京農業大学・神奈川県)

11:30-11:45

8) 高等学校における譲渡犬の教材化

原 敬一(岡山県立高松農業高等学校・岡山県)

11:45-12:00

9) 酪農体験活動前後における児童の牛乳・乳製品摂取の変化

瀬尾 哲也(帯広畜産大学・北海道)

12:00-12:15

(昼食、ポスターセッション 12:15-13:15)

座長：瀬戸口 明久 (大阪市立大学)

10) 牲犬と芻狗—中国古代のイヌ観—

藤島 志麻 (京都大学・京都府)

13:15-13:30

11) アフリカにおける牧畜民と野生動物の関係の変化

目黒 紀夫 (東京大学大学院・東京都)

13:30-13:45

座長：伊谷 原一 (京都大学)

12) タイ北部におけるヒトとイヌとの関係—ヤオ族が暮らす山村の事例—

増野 高司 (国立民俗学博物館・大阪府)

13:45-14:00

13) 丹沢山麓の獣害地域における住民感情

大岩 幸太 (東京農業大学・神奈川県)

14:00-14:15

(休憩 14:15-14:30)

座長：天野 卓 (東京農業大学)

14) 変容する関係—牛、犬、ヒト

ポール・ハンセン (SOAS ロンドン大学/国立民族学博物館・England/大阪府)

14:30-14:45

15) 「肉用牛農家」と「牛」の関係における社会的規定

佐野 市佳 (関西学院大学・兵庫県)

14:45-15:00

シンポジウム1「ウシを語る」

コーディネーター：近藤 誠司 (北海道大学)

パネリスト：菅 豊 (東京大学東洋文化研究所)

岡本 全弘 (酪農学園大学酪農学部)

植竹 勝治 (麻布大学獣医学部)

15:00-17:50

・副会長による1日目終了の挨拶・事務局長からのお知らせ

17:50-18:00

(懇親会 18:00 から)

3月7日(日)

・副会長による開催の挨拶・学術委員長からのお願い

09:50-10:00

座長：加藤 謙介 (九州保健福祉大学)

16) 動物の好き嫌い～親から子どもへの影響力～

北澤美希 (帝京科学大学・山梨県)

10:00-10:15

17) 大学生における愛着スタイルとペットとの関係についての研究

光井 麻理 (ノートルダム清心女子大学大学院・岡山県)

10:15-10:30

座長：福岡 今日一 (イードッグ研究所)

18) ペット飼育による「人の睡眠」への影響に関する研究

石坂 奈々 (帝京科学大学大学院・山梨県)

10:30-10:45

19) 宿泊施設における身体障害者補助犬同伴者受入に関する調査

石川 俊介 (日本大学・神奈川県)

10:45-11:00

座長：竹花 正剛 (R.E.A.D.D.学習相談室)

20) 脳性まひ生徒による動物介在活動実施に関する研究

今坂 修一 (筑波大学大学院・茨城県)

11:00-11:15

座長：安藤 孝敏 (横浜国立大学)

21) 乗馬は自律神経活動に作用し重症心身障害児の筋緊張を軽減する

要 武志 (相模原市立療育センター陽光園・神奈川県)

11:15-11:30

22) 障がいのある子どもを障害者乗馬活動に参加させる働きかけ

慶野 宏臣 (障害者乗馬レモンクラブ・岐阜県)

11:30-11:45

座長：大矢 大 (京都女子大学)

23) イルカ介在活動が重症心身障害児の保護者に与える影響

要 香澄 (麻布大学・神奈川県)

11:45-12:00

24) グリーンチムニーズにおける動物介在療育の現状～マンパワーの観点からの考察～

金子 明日香 (東京農業大学 卒業・長野県)

12:00-12:15

(昼食、理事会・評議員会 12:15-13:15)

(学会総会・奨励賞及びベストポスター賞授与式 13:15-13:45)

座長：小林 信一（日本大学）

25) 国内の犬および猫の生命倫理に関する意識調査からの一考察

岡田 健吾（玉川大学・東京都）

13:45-14:00

26) 安楽死処置をめぐる動物病院の飼主への対応に関する調査

杉田 陽出（大阪商業大学・大阪府）

14:00-14:15

座長：新島 典子（ヤマザキ動物看護短期大学）

27) ペットとの死別時の反応と経過に関わる要因分析 ―学生の調査―

山田 弘司（酪農学園大学・北海道）

14:15-14:30

28) ペットロスの悲しみを聴き続けることの意味

―セルフヘルプ・グループの中でボランティアは何を得ているか、またどんな困難を抱えているか

梶原 葉月（Pet Lovers Meeting・埼玉県）

14:30-14:45

シンポジウム2「ペットロス探求」

コーディネーター：横山 章光（帝京科学大学）

パネリスト：藤田 典子（帝京科学大学アニマルサイエンス学科）

木村 祐哉（北海道大学大学院医学研究科）

瀬藤乃理子（甲南女子大学看護リハビリテーション学部）

14:45-17:50（途中休憩 15:15-15:30）

・会長による閉会の挨拶

17:50-18:00

ポスターセッション 座長：井本 史夫（井本動物病院）

- 29) 飼育体験による動物園と中学校の教育連携：社会・職業体験として  
河村 奈美子（札幌市立大学・北海道）
- 30) 『ハラスのいた日々』を通して飼い主とコンパニオン・アニマルの関係を学ぶ  
—動物看護学科の臨床心理学ゼミ—  
小倉 啓子（ヤマザキ動物看護短期大学・東京都）
- 31) 飼育体験がもたらす動物園・動物・飼育員に対する印象の変化  
町田佳世子（札幌市立大学・北海道）
- 32) 広島市安佐動物公園における動物介在教育に関する研究 I  
—ポニーの体験乗馬の教育的効果と今後の課題—  
石飛 奈緒（広島アニマルケア専門学校・広島県）
- 33) 広島市安佐動物公園における動物介在教育に関する研究 II  
—バックヤードガイドの教育的効果と今後の課題—  
新垣 奈緒（広島アニマルケア専門学校・広島県）
- 34) 動物介在療法の実証的研究（1）——ウサギとの接触が前頭葉血流に及ぼす効果——  
野田 仁美（東海学院大学・岐阜県）
- 35) 動物介在療法の実証的研究（2）——動物画像の注視が前頭葉血流に及ぼす効果——  
長谷川 博一（東海学院大学・岐阜県）
- 36) 犬を介在させた場合の多動行動自己制御に関する調査 ～最重度自閉症者 2 名からの検討～  
波多野 美佳（帝京科学大学・山梨県）
- 37) 麻薬探知犬の合否を毛色遺伝子 MC1R の型から予測する  
岸 尚代（京都大学野生動物研究センター・京都府）